

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：令和2年度～令和6年度

(令和2年度)

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

茨城県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	中山間地域においては、過疎化、高齢化等の著しい進行により、地域の活力が低下しつつあり、この活性化を図ることが重要な課題となっている。そのため、農地や土地改良施設の利活用を基本とする地域住民活動の多様な展開を促進し、地域の活性化を図る必要がある。
事業実施の基本方針	中山間地域において、農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、地域住民活動を推進するための人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等を促進する。 また、農地や土地改良施設の有する多面的機能の重要性に対する理解促進と維持保全を図るとともに、住民活動を促進するため、都市住民との交流活動等に取り組む。
計画後の目指す姿	地域住民が、中山間地域の有する人的・物的資源を活かしながら生きがいを持って暮らしていける環境が整うとともに、都市住民との交流も活発になり、持続性のある農村社会が形成されている。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容					総事業費 （千円）
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
調査研究事業	○地域住民活動の活性化を通じた土地改良施設及び農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査 ○土地改良施設及び農地の機能保全に資する工法等の研究	①	ふる水第3-2-(1)	○中山間地域の地域住民の協働活動を推進するための情報収集、冊子の配布を行う。					200
研修事業	○地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材の育成	②	ふる水第3-2-(2)	○ふるさと水と土指導員等の活動の活性化を図るため、全国研修会等に派遣する。 ○都市農村交流のリーダー育成と農村活性化のための地域づくりに向けた研修会等を開催する。					400
推進事業	○都道府県委員会の運営 ○地域住民活動の活性化に関する推進指導、啓発、普及活動	③	ふる水第3-2-(3)	○基金運営委員会を年に1回開催し、農業農村が持つ多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の推進を図るための意見聴取、施策検討を行う。 ○地域住民活動のリーダー育成のため、ふるさと水と土指導員への活動費助成や意見交換会の開催を行う。 ○中山間地域におけるふるさと魅力発見隊事業の実施により、農業農村の多面的機能の理解を促進するため、一般県民を対象に農業体験活動や土地改良施設等の見学会を開催する。 ○子どもたちを対象に農業農村が持つ多面的機能への理解を促進する絵画コンクールを実施する。					11,400
保全ネットワーク推進事業	○都市住民等の保全活動への参加促進のために実施する事業	③	棚田第3-2-(1)	○棚田地域等におけるふるさと魅力発見隊事業の実施により、農業農村の多面的機能の理解を促進するため、一般県民を対象に農業体験活動や土地改良施設等の見学会を開催する。					1,000
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
中山間ふるさと・水と土保全対策事業 （ふる水と土基金）	計画事業費 （単位：千円）			12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
	(実績額) （単位：千円）			6,857	6,604	9,072			
中山間ふるさと・水と土保全推進事業 （棚田基金）	計画事業費 （単位：千円）			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	(実績額) （単位：千円）			91	942	930			

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
① 中山間地域の地域住民の協働活動を推進するための冊子配布により、中山間地域に対する理解を促進させる。	冊子の配布回数		20	4回 (新田舎人の配布)	8回 (新田舎人・季刊地域の配布)	8回 (新田舎人・季刊地域の配布)				
② ふるさと水と土指導員等を全国研修会へ派遣することにより、中山間地域の集落共同活動等のリーダー的存在の育成と質的向上を図る。	研修会への派遣人数		10	—	—	—				
③ 中山間地域及び棚田地域において、ふるさと魅力発見隊事業を実施し、中山間地域の農業農村の多面的機能への理解を促進する。	参加者数		750	46名 (漆かき・塗り体験会21名、常陸大黒収穫・おやき作り体験会25名)	166名 (茶摘み・手もみ茶作り体験会30名、こんにやく作り体験会62名、十石堀探訪ツアー74名)	154名 (田植え・稲刈り体験46名、茶摘み・手もみと紅茶作り・そば収穫体験59名、十石堀探訪ツアー49名)				

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
① 中山間地域の地域住民の協働活動を推進するための冊子配布により、中山間地域に対する理解を促進させる。			
② ふるさと水と土指導員等を全国研修会へ派遣することにより、中山間地域の集落共同活動等のリーダー的存在の育成と質的向上を図る。			
③ 中山間地域及び棚田地域において、ふるさと魅力発見隊事業を実施し、中山間地域の農業農村の多面的機能への理解を促進する。			